

ヒメマルミズムシ

カメムシ目マルミズムシ科

Paraplea indistinguenda (Matsumura)

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー なし

選定理由

全国的に生息に適した環境が失われつつある。県内での分布はきわめて局所的である。

形態

体長は1.5~1.7mm。頭部は幅広く、前胸背板は大きい。体色は背面が淡黄白色、淡褐色~黄褐色で腹面が黒色、脚は黄色。頭頂から顔面にかけて中央は顕著に線状に縦隆起がある。体表面には顕著に目立つ点刻がある。触角は3節。後脚脛節は円筒状で、跗節には2本の長い爪がある。

国内分布

本州、四国（徳島）、九州。

県内分布

輪島市曾々木における1965年の記録があるが、現在も生息しているかどうか確認されていない。近年、珠洲市内のため池1箇所、再発見された。

生態

島根県のため池では、幼虫は5月下旬~6月中旬に、成虫は5月下旬、7~8月、11月に確認された。背を下にして泳ぎ、ボウフラなどの微小な水生昆虫を捕まえて体液を吸う。水際の植生間でときに群生する。灯火にも飛来する。

生息地の条件

平野部~丘陵部の抽水植物および緑藻類が繁茂する、小規模で開放水面が狭い池沼、湿地。

生存の危機

生息する小さな池の埋め立て、各種排水や農業による水質汚染が脅威となっている。現在の生息地を保全することが最重要であるが、生息地から数kmの水域でアメリカザリガニが増加傾向にあり、駆除の徹底、今後の分布拡大の防止が重要である。(A, B)

参考文献

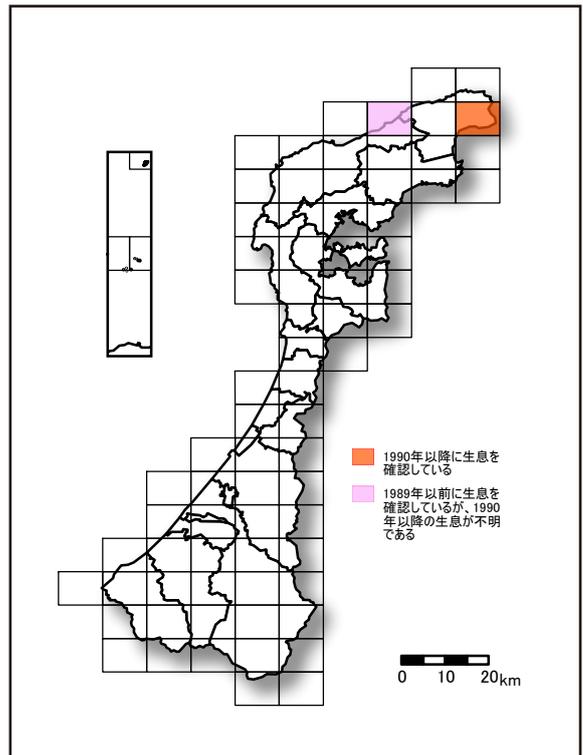
日浦 勇 1968. 日本産水棲・半水棲半翅類の分布の研究 1. 大阪市立自然科学博物館所蔵標本の検討. 大阪市立自然科学博物館研究報告, (20) : 65-81.

西城 洋 2001. 島根県の水田と溜め池における水生昆虫の季節的消長と移動. 日本生態学会誌, 51 (1) : 1-11.

富沢 章 2008. 石川県でヒメマルミズムシを記録. とっくりばち, (75) : 59.



標本提供者: 富沢章



県内の分布